

# 松永源六郎



## 概要

氏名 松永源六郎 (まつながげんろくろう)

職業 刀匠

住所 荒尾市川登 1907-80

主な活動地 荒尾市を拠点として、県内各地  
及び福岡県

地域文化活動部門

松永源六郎氏は、昭和四十六年に荒尾市の刀匠、川村清氏に師事し、約六年間の修行を経て、昭和五十三年に文化庁より刀匠の承認を受けました。

現在は独立し、荒尾玉名地区に古くから伝わる製鉄法「たたら製鉄」の復活を成し遂げるとともに、その製鉄法を守り続け、荒尾市をはじめとする県内各地や福岡県、大分県でも個展を開催し、郷土の工芸品の普及と啓発に貢献しています。

昭和五十八年に財団法人日本刀保存協会現代名刀展に入選以来、各種コンクールでも十六回の入選を果たすなど、優れた日本刀づくりに功績があります。

平成九年に荒尾市で開催された熊本県民俗文化祭では、江田船山古墳出土の国宝「銀象嵌銘太刀」の復元に多大な功績を残すとともに、県内各地域の小中学生を主体とした「たたら製鉄探検隊」の指導にも尽力され、地域に残る製鉄遺跡の調査・研究及び伝承活動にも熱心に取り組んでいます。

また、古武道小岱流斬試源清会宗家として活動を続けるほか、家裁調停員、保護司、高等専門学校、非常勤講師などを務め、地域への貢献活動にも精力的に取り組み、地域の伝統文化の保存、継承に大きく寄与しています。

## これまでの活動歴

昭和四十六年	刀匠川村清氏に師事
昭和五十三年	文化庁より刀匠の承認を受け、独立
昭和五十八年	財団法人日本刀保存協会現代名刀展で入選(以後入選十六回)
昭和六十一年	「たたら製鉄」の技法による「荒尾刀」の制作に成功
昭和六十二年	大分県立芸術会館にて個展開催
昭和六十三年	福岡県大牟田市井筒屋にて個展開催
平成四年	福岡県立大川工業高等学校社会人講師
平成七年	「伝佐々木小次郎所用太刀」の復元
平成九年	第十回熊本県民俗文化祭において、国宝「銀象嵌銘太刀」を復元
平成十年	県立装飾古墳館古代たたら製鉄復元事業に参加協力
平成十一年	国立八代工業高等専門学校非常勤講師
平成十三年	荒尾市観光物産館にて個展開催
平成十三年	第十四回熊本県民俗文化祭にて個展開催
平成十七年	大津町立大津北中学校非常勤講師